

## 平成24年度第3回松山地域協議会会議録

日 時 平成24年11月28日(水) 午後1時30分～午後3時40分

場 所 松嶺コミュニティセンター 講堂

出席委員 13名

1号委員 齋藤 勝 志田 節子 佐藤 旭 今田 充代 丸山 慶子 池田 重悦  
小田 和夫 石川 信一 遠藤 俊三 村山 安子 佐藤 修

2号委員 小野 與一

3号委員 日野 健吾

欠席委員 2名

阿部 茂 阿部 春一

酒田市出席者

教育委員会学区改編推進主幹 川島 真 教育委員会文化財主幹 清野 誠  
松山総合支所長 大場 昭一 地域振興課長 秋葉 弘毅 建設産業課長 大淵 洋  
地域振興課長補佐 後藤 晃 市民福祉課長補佐 渡邊 学  
地域振興課調整主任 石川 春市 同 川島 崇史

傍聴者 1名

議事日程

1 開 会

2 あいさつ

3 議事録署名委員の選出

4 議 事

(1) 松山中学校と飛鳥中学校の統合準備状況について(教育委員会学区改編推進室)

(2) 松山歴史公園整備状況について(教育委員会社会教育課)

(3) 平成25年度地域づくり予算要求について

(4) その他

5 そ の 他

6 閉 会

【議 事】

1 開 会・・・地域振興課長

2 あいさつ

【地域協議会会長】

連日雨が続く中、今日は好天気にも恵まれました。大変お忙しいこととは思いますが、本日の協議会よろしくお祈いします。

さて、松山地域ですが、今まで協議会で話し合ってきたことが、実際目に見える形で進んでいることが実感できるようになりました。今後も着実にこの地域が良くなっていくように、この会を運営していきたいと思えます。今日は教育委員会の方からもおいでいただいていますので、何なりと、ご質問などをお願いしたいと思えます。以上、今日は、よろしくお願ひします。

秋葉課長 議事録署名委員につきましては、地域協議会の設置条例施行規則第5条及び申し合わせ事項に基づきまして、今回は、小田和夫委員をお願いしたいと思えますが、いかがでしょうか。

出席者 異議なし。

#### 【教育委員会学区改編推進室】

学区改編推進室の川島でございます。よろしくお願ひします。それでは1番目の松山中、飛鳥中の統合準備につきまして、現在の進行状況を報告させていただきます。

統合準備委員会では、まだ協議中、調整中のものが結構ございますので、ある程度の結論が出たものを今日は資料として、お手元に2枚用意してございます。

まず、校名検討部会の報告がございました。

第1回目の部会では校名案の選定方法を公募すると決め、2回目は、集約された公募結果を予備選定することに決めました。平田、松山両地区合わせて105件の応募がありまして、56の校名案がございました。第3回目の部会におきましては、この結果をもとに、複数の校名案を選定しております。選定方法は票数だけではなく、話し合いによるものです。平田地域、松山地域に偏ったイメージの名前、既存の学校の名前、それから過去の学校の名前を除き、新しい学校を創造するという観点から、第七中学校、東部中学校、拓翔中学校の3案が残りました。

今後の進め方でございますが、まず統合準備委員会に報告し承認を求めるという形になります。併せて事務局から教育委員会に報告し、統合準備委員会の承認後、教育委員会と校名検討部会で意見交換を行うこととなります。

意見交換会は、どれがいいとかという話ではなく、あくまでも客観的な意見を言っていただくという場でございます。

それからもう一点は、制服部会からの報告でございます。イメージが分かるように図を添付しております。男子の場合は標準学生服ということで、どこの会社のものでよろしいということになりました。女子の場合は展示会やアンケート調査等も行い、検討の結果、図のようなものになりました。あと男女の運動着についても、図のようなものに決まりました。

他の部会については、まだ調整中ございまして、特にご報告できるような段階ではございませんので、今日ははっきり決定いたしましたこの二点についてご報告させていただきますのでございます。よろしくお願ひします。

石川会長 中学校の統合準備委員会の会議に基づいた報告ですが、何かお聞きしたいことがありましたらお願いします。

小野委員 今後の進め方について、意見交換会が開催されるとのことですが、時期とその後最終的にはどのような形で決定されるのかお聞かせ願います。

川島主幹 今後の進め方といたしまして、まず教育委員と校名検討部会のみなさんと意見交換を行い、そのあとに教育委員会の議題として正式に取り上げることになります。どの案がよろしいかということをお聞かせいただき、教育委員会で協議し、決定したうえで、最終的には市議会の議決を経て決定することになります。

意見交換は12月の国政選挙後から1月中旬ぐらいを予定しております。若干、日程調整に時間がかかっておりますが、できるだけ早くしなければならないと考えております。

教育委員会で決定した後に議会に報告しますが、同時に統合準備委員会全員を対象に報告会を行います。何かと申しますと、議会に報告しますと、すぐにマスコミで取り上げますので、後で報告会をやっても全く意味がないものですから、必ず、議会に報告する同じ日に、関係者全員を対象にして、報告会をやるというルールにしております。

また、条例を改正して、学校名を変えるという作業が必要となります。簡単に言いますと、松山中・飛鳥中を廃校という扱いにして、新しい一つの中学校が生まれるという手続きを行います。

石川会長 よろしいですか。他に何かありませんか。

佐藤修委員 たいしたことではありませんが、部会の欠席者が多いように感じます。何か原因があるのでしょうか。あるとすれば今後どのような対策をするのかお聞きします。

川島主幹 この校名検討部会が一番大きな部会でございます。部会員には他の部会長も加わっており、非常に範囲が広がっているものですから、どうしても全員に都合のいい日程は組めませんでしたので若干欠席が多くなりました。

ただし、規定上は過半数の出席があれば成立しますので問題はございません。

また、欠席された方にも、必ず事後報告はしていただきましたので、特に支障はありませんでした。

事前投票に関しては、9割方以上の方から投票もいただいておりますので、十分有効性はあると思っております。以上でございます。

石川会長 ほかに、ございませんか。

日野委員 統合準備委員会は予定通り進んでいるようですが、遅れるということはありませんか。

川島主幹 平成26年4月開校ということで予定通り進んでおります。ただ、工事に関しては、体育館等現在使用している建物もある訳で、そういった建物は新しい

ものできないと解体できない訳です。いわゆる開校時に全ての工事が終了しているかといえば、その後、1年程度は解体に関連する工事等が続く予定になっております。

石川会長 よろしいですか。

日野委員 もう一点、制服ですが、入学記念に買ってあげたい方もいると思いますので、男性の場合、大体どの程度の値段になるのでしょうか。

川島主幹 値段としましては男子で一式約3万～4万円と聞いております。参考までに、女子の方ですと、上下で2万7千円位ではないかと聞いております。

石川会長 他に、ご意見ご質問はありませんか。それでは私からですが、工事中的ことに対していろいろな意見があったと思いますが、大きな点について松山の方々にもお知らせ願いたいと思います。

川島主幹 改修工事については順調に進めさせていただいておりますが、工事の設備、資材や重機の置き場所の関係で、生徒を迎えに行った保護者から駐車場の確保が非常に難しいとの苦情があります。また、通り抜けができなくなり、非常に不便だという苦情もあります。ただこれは、工事の進捗上なんともやむを得ないお話でありまして、生徒の安全確保、それから工事現場と、授業の現場を隔離するというごさいましてやむを得ないということでご理解をお願いしております。

広報については平田・松山両地区の皆さんに、同じようにお知らせをしております。

石川会長 工事中の騒音についての苦情はありましたか。

川島主幹 昔は、例えば杭打ちとかやりますとガンガン音がしたものですけれども、今はドリルで掘っていくようですので、大きな音は無く問題無いようです。

それから、塗料の臭いとかがきついという話も、聞こえてはおりません。やはり先ほど申し上げましたように、なんといっても車が入りづらいというのが、最大の苦情でございます。

石川会長 ありがとうございます。ほかにこの件についてご質問はございませんか。無いようですので(2)の松山歴史公園整備状況について、これも、教育委員会の方からご説明をお願いします。

#### 【教育委員会社会教育課】

清野主幹 酒田市教育委員会社会教育課の清野と申します。よろしく、お願いします。それではお手元のA3の資料に基づきまして現状のご報告させていただきます。まず、資料の左側にあります丸馬出し整備部分については、現状で丸馬出しが半分位残っていますので、それを延長して復元する予定です。現状の植栽については一部他の整備に使いたいと考えております。また、入り口からの園路を北側に延長して反対側の市道につなげ、そこからも園内に入れるようにし

たいと思います。園路の整備上、旧松嶺高校の校舎は解体する予定です。

それから駐車場ですが、一部残しまして、利用者と管理用に使用したいと考えております。現在の公衆トイレは解体して別の場所に新たに作りたいと考えております。

次に多目的広場整備ゾーンですが、現在の旧朝日園舎を解体して、基本的に、多目的広場として利用したいと考えております。現在の植栽は間引きして、広場から文化伝承館の外観が見通せるようにしたいと思っております。また、そこには少し高いステージを設けて、薪能やいろいろな催しにも利用できるような広場にしたいと考えております。

それから、現在、伝承館の駐車場のあるゾーンですが、既存の駐車場を拡張する形で整備を行い、大型バス等もここに駐車ができるようにしたいと考えております。先ほど申しました公衆トイレですが、この部分に設置したいと考えております。

それから伝習機能施設整備ゾーンについてですが、ここには建物が建つ予定です。建物につきましては、基本構想に基づきまして、演能、茶道の約束事を踏まえた部屋の配置を基本としながらも、それに限定されるものではなくて、色々な使い方ができるような施設にしたいと考えております。

多目的ホールですが、椅子席にして約150席程度の広さで、椅子はいろいろな使い方に対応できるようにするため固定席にはしない予定です。150人以上の方が来た場合は、扉を開いて、ロビーからも観覧できるというような形にしております。また、ロビーは広くとっており、休憩スペースや物販スペースをとることができるようになっております。資料の図に載っている周辺の植栽はイメージですので、実際この通りになるとは限りません。この部分も割と広いスペースをとっておりますので、色々な活動の場所にも使えるようになっております。

土塁については市の文化財に指定されているので現状のまま保存を図っていきたいと思います。土塁と建物の間は、建物に合うような庭園風の多目的広場にしたいと考えております。ここも自由に散策できるように園路を設けて、園内を自由に行き来できるようにしたいと考えております。それから、現在、市道の歩道は駐車場あたりまでですが、土塁部分まで延長する予定です。

それから、雨水調整池というものがありますが、これは公園に降った雨を一時的に溜めておいて、一気に排水路に流れ出ないように工夫をしたものです。以上、簡単ですがけれども現状の整備の中身についてご説明をいたしました。

石川会長 説明ありましたように事業は着々と進んでおりますが、ここで何かお聞きしたいようなことがありましたらお願いします。

村山委員 文化伝承館が旧朝日園から見通せるような庭園を造りたいという、私たちの意見が叶って大変うれしく思っています。確認ですが、能舞台ですけれども、

屋内はわかりましたが、外でやる場合の設定もしているのでしょうか。

清野主幹 先ほど、ご説明申し上げました旧朝日園の跡地の多目的広場整備ゾーンに、城門をバックにした、ちょっとした高台を作って、ここに舞台を設置できるようしております。

小野委員 歴史公園の整備事業は、松山の一つの特徴でもありますので、よろしく願いたいと思います。ただ、せっかく作るわけですから、他の地区、例えば会津の武家屋敷のような施設のストーリーが必要だと考えます。今回の整備事業にも、松山地域として、何かしらのコンセプトを盛り込んでいただきたいと思います。

ハード面とソフト面の両面を整備することにより、松山に行ったらこんな施設があるんだ、そこに行ったらこういう順路で、こうやって楽しめるね、というような、そして又来たいと思わせるような感動を盛り込んでいただきたい。

利用される方は年配者もいれば、お子さんもいるわけですから、できれば、キッズコーナーみたいなものを設置して、若いお母さん方が来ても安心して、ゆっくりできるという面も必要だと思います。

休憩室や物販の機能も位置づけされていますが、さらに地域の交流人口が増えるような形で、強化をしていただきたいと思います。

先にも言いましたが、他の地区をどんどん見ていただいて、いいところを松山に導入していただきたいと思います。

清野主幹 大変ありがたいご意見ありがとうございます。松山は何と言っても酒田市では唯一の城下町でありますので、そういったコンセプトを踏まえつつ、今回の事業を進めていきたいと思っております。丸馬出しを作るということも、その一つでございます。丸馬出しから城門を通して伝承館の中に入っていただくというようなことも、こういった整備の構想を描くという際にはぜひ必要なのかなと考えております。

それからソフト面につきましては、これからということもありますけれども、ぜひ皆さんからも考えていただいて、こういう使い方ができるんじゃないか、というようなことも、ぜひご提案をいただければ、積極的に取り入れていきたいと考えておりますので、ぜひ皆さんからも応援をしていただきたいと考えております。

石川会長 この歴史公園整備は、ただ単に物を作るということだけでなく、ここを拠点として、いかに交流人口を増やしていくか、ということも大きなねらいでした。

こういった点からも、教育委員会まかせということでなくて、地域協議会の方でも積極的に検討していくこととします。

小野委員 会津の場合は弓道の体験コーナーがありました。体験をとおして歴史の再現を図っているわけです。映像による歴史の再現もあるわけで、いいところは積極的に参考にしてほしいなと思います。

佐藤旭委員 いろいろなゾーンがあるようですけども、仕切りというか、ゾーンとゾーンとの間、民家や市道との境目はどういう風になりますか。

清野主幹 現在、公園の周りには白壁の土塀があります。同様な土塀を設置したいと考えております。また、隣接する民家や市道との境目は、植栽や生垣を設置して見えないようにし、別の世界に来たような感じになるようにしたいと思っております。

佐藤旭委員 この地域は、城下町でしたので、やはり特徴を活かした整備をお願いします。

清野主幹 先ほど説明しませんでしたでしたが、図の黄色部分は園路です。曲線で散策しやすいような園路を考えておりますので、そこを歩いて公園を楽しんでいただきたいと思っております。

今田委員 歴史公園の整備状況はわかりました。私はこの地域は、他の町に比べるとすごく特殊な地域だと思います。一歩中に入ると、すごく分かりづらいつくりになっていますが、それを逆手にとった散策するルートがあればと思います。

例えば金山町には結構歩いて行けるゾーンがたくさんあります。全部真似するというわけではありませんが、こういったゾーンができれば、周辺の風情も利用した中を散策してもすごくいいと思っております。

私はここの生まれではありませんが、この地域には、赤門とか杉並木とか歴史を感じさせるものがたくさんあります。あちこち歩いて、すごくいいなと思うところが結構あります。

秋葉課長 基本構想の中に、行政と市民が協力した街歩き環境を作るという項目を設けております。これまでも、観光ボランティアガイドの皆さんから、ご協力いただいて、街歩きもしていただいております。

今回、多額のお金をかけて整備いたしますが、ただその施設を整備するだけではなくて、地域の皆さんと一緒に利活用するために、これまでのソフト事業も含めまして、新たなソフト事業も一体となって開発していきたいと考えております。

尚、今回いただいたご意見は、これからのソフト事業をどのように開発するか、また活用するかという点で、十分に参考にさせていただきたいと思っております。

今田委員 街歩きボランティアへの参加申込みはどのくらいありますか。

大淵課長 街歩きの関係では今年は3回ほど実施しております。春と夏、先日の産業フェアの催しでも実施いたしました。最初はやはり珍しいということもあって参加者は多かったのですが、回を追うごとに若干少なくなっていると思われまます。

しかしながら、地域振興課長も言ったように、今後は新たなソフト開発を考えているようですし、それに関わるハード面の整備の検討も必要ですので、景観形成重点区域を中心に、観光に関連する施設について取り組んでいく必要はあると思っております。

ボランティアガイドについては、引き続きご協力をいただいきたいと考

えております。

石川会長 興味のある方は、ぜひボランティアガイドに参加してください。ところで現在ガイドは何人いますか。

秋葉課長 登録されたボランティアガイドは5名だそうです。支所の建設産業課の方に申込みいただければ、概ね5～6人の団体から紹介されることになっているそうです。

丸山委員 今回新しくなる施設は、毎日開放するのでしょうか、何かのイベントを開催するときだけの開放でしょうか。

清野主幹 この施設は、いわゆる、貸し館という風に考えており、利用希望があれば、皆さんに貸し出すという形になります。夜間についても、ご利用いただけるよう今のところ考えております。休館日はあるかもしれませんが、今後の検討事項です。

伝承館ですと入館料を払って入るというようになっていますが、新しくできる施設の方は自由に入ることが可能です。ただ、施設を利用する場合、例えば、部屋を利用するとか、ホールを利用するとか、そういった場合は一定の使用料を払っていただくことになります。

丸山委員 どの観光地にも行っても、入館料はある程度必要ですが、説明していただく方がおります。松山でも、パンフレットだけではなく、ある程度、見学者が納得するようなガイドさんが欲しいんじゃないかなと思います。

清野主幹 基本的には、皆さんからお使いいただく施設という風に考えております。

そこに来た方に説明ができるガイドについては、今後の課題とっております。そういった人材の育成は、ぜひ皆さんからも考えていただきたいと思えます。そこに行けば松山のことは全て分かるという風になれば、私共としては一番嬉しいことです。

村山委員 外から来た人に、松山っていいねって言われたとき、何を見てそう感じるのですかと聞くと、たいてい生垣が城下町のイメージにぴったりだと言われます。

城下町のイメージをアップするのであれば、多少手間ひまがかかっても、面倒がらずに少しずつ増やしていくのも、一つのイメージを作るためには必要かなと思います。

遠い将来でも構いませんけども、整備事業の中で取り組んでいただきたいと思えます。

大淵課長 現時点でも、松山歴史公園周辺の一定のエリア内では、生垣に対する補助制度がございます。生垣につきましては、5,000円/mで、限度額が10万円となっております。

ほかにも、例えば屋根の形状や葺き替え、更には自動販売機の目隠し等を、城下町に合った作りに対する補助制度がございます。

この制度につきましては周知不足を感じておりますので、支所として、もっ



とPRしていこうと思います。

遠藤委員 この事業の完成予定は何年ですか。

清野主幹 当初は来年度を想定しておりましたが、これだけの整備事業ですので、少し長引いて平成26年度にずれ込む可能性があります。

日野委員 今度新しくできるトイレはコンクリート製ですか、木造ですか。

清野主幹 歴史公園内ですし、また、そこも都市計画サイドの景観重点整備地区にもなっておりますので、そこにふさわしいような造りにしたいと考えております。

日野委員 子供が少なくなっていると聞こえてきます。松山地域においても将来の流れはどうなるのでしょうか。

川島主幹 私共の方で教育人口統計という資料を作っております。酒田市全体の話を申し上げますと、昨年度の統計からみて、幼少の方といたしますか、0～15歳人口が443人減っております。どの程度の減り方かなと考えますと、大体、酒田市で結構大きい小学校の泉小学校が425人ですので、この学校が、一つ無くなるということです。

松山地区では、例えば地見興屋小学校は平成24年度で44人、それから松山小学校は93人、内郷小学校は67人で合計204人です。

これが今後の推計ですけれども、平成30年には合計で150人弱ぐらいに、なるという計算でございます。

小野委員 今問題になっているいじめの関係ですが、この地区についても十分対策をお願いしたいと思います。

2点目は、やはり統合について一番心配しているのは保護者です。準備委員はいいのですが、その委員から実際の保護者にきちんと情報が伝わればいいのですが、以前には多少問題があったと思います。適宜、公表できるものについては、保護者に情報をきちんと流していくことが大事だと思います。中間報告みたいな形でも良いと思います。そうすれば、色々な問題点が出てきた場合にも協力してもらえるとしますので、その辺よろしくお願いします。

小田委員 歴史公園整備については分かりましたけれども、現在ある文化伝承館の若干の手直しはできるのかどうか。

清野主幹 現在の文化伝承館でも修繕が必要なところはあるという認識をしておりますが、今回の整備とは別に計画的に修繕をしていくと考えておまして、予算要求はさせていただいております。

従って、現在、整備を計画している部分が全て完成した時点で、文化伝承館の方も、全部綺麗になるという訳ではございません。

石川会長 ほかに意見もないようですので、この件についてはこれで終了します。

(休憩・教育委員会退席)

石川会長 次に平成25年度の、地域づくり予算要求についての、議題といたします。

よろしく申し上げます。

【平成25年度地域づくり予算要求について】

秋葉課長 地域づくり事業における予算要求の考え方について、ご説明申し上げたいと思います。

新年度の、予算要求額は、本年度に比較しまして、1,861千円の減額となるものでございます。増減する要因の主なものをご説明申し上げます。まず、1点目ですが、5番の青少年国内外交流事業につきまして、今年度は、アメリカに派遣でしたが、25年度につきましては、アメリカからの受け入れが行われます。このため、1,861千円が減額となるものでございます。尚、鹿児島との交流につきましては、例年通りの事業を予定しております。

2点目が、3番の生涯スポーツ振興事業につきまして、今年度は宮城松山地域との友好町締約30周年の記念事業を行いました。この事業につきまして、予算を計上しました関係上、例年より少し大きくなっておりました。新年度につきましてはこの分が減額となるものでございます。

それから、3点目としましては、8番の松山げんき創造事業ですが、今年度から新規事業として取り組んでおります。松山げんき創造研究会という任意組織を立ち上げ、現在この研究会が主体となって、イベント事業、それから研修会、組織強化等に取り組んでおります。新年度におきましても、この研究会を中心として、各種イベントに取り組んでいきたいと思っております。それと併せまして、来年度に完成する歴史公園を含んだ、公共施設の施設指定管理者として公共施設の管理運営を受託できる団体の育成を図りたいとするものであります。この事業が、738千円であります。

以上、本年度に比較しまして、1,861千円減額の7,010千円の予算を要求していきたいと考えているところです。減額になった分は、まるまる青少年国内外交流事業の、アメリカ派遣部分が減額になるという形になります。

特徴としては、8番のげんき創造事業で、来年度さらにブラッシュアップしたイベント等を組んでいきたいと考えておりますので、よろしく願い申し上げます。

石川会長 只今ご説明ありました通りのことですが、何かご意見があれば、提案願いたいと思います。

佐藤旭委員 私から提案ですけれども、松山地域の存在感がだんだん薄れてきているような感じがします。根本的に考えていかないと、ゆくゆく松山ってどこにあるのということになると思います。そういう意味から、ここで一頑張りしてプロジェクトを立ち上げ、本気になって、これからの松山を、どのような方向に持っていくべきかを考えるべきです。

幸い、酒田市には公益大学もあるわけです。そこには、地域振興に熱心な先

生がおりました。また、学生の中にも、地域振興に、たいへん興味を持って研究している方が多くいます。いくらでもお手伝いしますと言っていました。

地域の中にいる人だけで、論じ合っても、なかなか良いアイデアは出てこないと感じています。やはり第三者の、客観的に物事を見る人の中に入れていかないと将来構想は描けないと思います。

大場支所長 佐藤委員から、松山の存在感が失われていく危機感があるというお話でしたが、私は、松山らしさというのが失われているとは、そんなには感じておりません。何故かという、地域ビジョンも、ましてやあの、歴史公園の基本構想も、この地域の方々から考えていただいた部分が多いわけです。

公益大学の先生の中にも地域振興に卓越した方がおられるということでありますので、例えばそういった先生を、この協議会の講師として招いて勉強していくのも良い方法だろうと佐藤委員からお話を伺って思ったところです。

いずれにしても今後、松山らしさを出すために、地域ビジョン、あるいは過疎計画を中心とした、具体的な方策を皆さんで打ち出していくというような気持ちで向かっていけばいいのかなと思っております。

石川会長 げんき創造事業について、もう少し詳しく説明していただけますか。

秋葉課長 従来のように行政が全部肩代わりするようなやり方ではなくて、地域の人が先頭に立っていけるような事業をやりたいということで、松山げんき創造研究会とうネーミングも含め、地域を盛り上げる団体として立ち上げたところです。

運営方法も、イベント等の参加料はそれなりのお金をいただいて、そのお金は地元に戻元しましょうという考え方です。それで地域が元気になっていただければという目論見をしたところでもあります。

会員として、いろいろな職業についている青年層以上の方に声を掛け、昨年度後半に一度会議を開催し主旨を説明いたしました。今年度に入り本格的に会員を募集し、役員等を決定し、いろいろな事業を展開しながら現在に至っているところです。

それから、歴史公園が新しくなりますので、そこを地元の皆さんでなんとか運営できないかということも考えております。新しい歴史公園を拠点として、自分たちがこの地域で頑張りますという団体になってほしいという願いがあるからです。

げんき創造研究会のほかにも、この地域を引っ張って行っていただけるような組織がもっと出来ていただければ大変ありがたいと思っております。

当初はこの研究会で歴史公園の運営を請け負えればと考えていましたが、このげんき創造研究会がそのままということでも良いと思います。

げんき創造研究会の皆さんの中から、これから整備される歴史公園等の施設を請け負うような組織の代表的な方が育っていただいても良いし、ほかにも、こういう組織がいっぱいできて、その中から公園の運営を請け負っても良いと

いう団体が出てきても思います。

来年度以降については、今年度のイベントを少しスケールアップしたり、4地区のコミュニティ振興会とタイアップして、さらに地区を代表するようなイベントにしたいと考えております。

佐藤旭委員 酒田市から見た松山地域の位置、経済活動や生産面での実態等をきっちり把握した上で、将来的に、どういう形で進むのか、例えば農業生産でやっているのか、それとも商工業を唯一にいくのか等の方向性を決めて、みんなが同じ目標を持って、進んでいく必要があると思います。

イベントも大事ですが、やはり大きい目標を掲げ、それに向かって色々なことをやっていく必要が重要だと思います。

小野委員 地域の活性化、松山らしさをどう構築していくかについては、前から議論してきました。

私たちが地域協議会の委員として松山をどうしていくかを、もっと自由に話し合うことが大切だと思います。それと先ほど出た公益大の先生を呼んで話を聞くことも大事です。今年度は八幡、平田地区の協議会委員との合同研修会もありました。非常に意義があったと思います。

講演なんかも開催して、着実に攻めていく姿勢が必要です。でも、その柱は地域ビジョンです。それにいかに肉付けし、血を与えていっていかう事だと思います。

大場支所長 地域の特性を生かすとか地域を振興するとかは、この地域に住んでいる人が、何をどうすれば、この地域が活性化するのだろうとまず話し合っ、前に進んでいかなければならないと思います。

今年、合同研修会がありましたけれども、同じような課題を、3地域で話し合うということで、何かを見出せるのではないかと考えています。

いずれにしても、この地域協議会や松山げんき創造事業研究会も含め、この地域の方々は頑張っているとは思いますが、より多くの方々が、松山の元気を自分たちで作っていくと言うような気持ちでやっていかないとなかなか難しいことだと思います。

遠藤委員 今年、3地域でウォーキング大会をした道路ですが、たいへん素晴らしい立派な道路だと感じました。私もその後何回も通りましたが、あの道路を冬でもどんどん利用すれば、もっと眺海の森が活性化すると思うのですが。

秋葉課長 ふれあい支援農道のことだと思いますが、一年中通して使っていただきたいということで、冬期間の除雪についても予算要求をしたところですが、なかなか今回は厳しいというようなお話も聞いています。

色々なところで話題になると、実現に近づくとお思いますので、こういう場での声も、関係者の方に伝えていきたいとお思います。

佐藤修委員 デマンドタクシーの利用状況はどうなってますか。

秋葉課長　　デマンドタクシーにつきましては、毎月120名前後の方が利用されています。ただし酒田便については松山から酒田に行く部分だけです。帰ってくる便は会社が違うのでこちらの方ではカウントできないそうです。

佐藤修委員　以前の循環バスと比較して経費はどうですか。

秋葉課長　　循環バスは利用料1人100円で、年間35万位の収入しかなかったのですが、現在は、それに近いような金額が入っておりますので収入としてはいいのかなと思っています。

また、経費そのものも、たぶん低くになっているとは思いますが、ただ、その分、利用者の皆さんが今までの5倍のお金を払いますので、利用者の負担は高くなっています。

石川会長　　他にありませんか。無いようですので今回の協議会はこれで終了します。どうも御苦労さまでした。